

上小だより

令和7年12月2日
文責 校長 山本祥博

育成をめざす3つの力「思いやりの心・がんばりぬく力・伝える力」

小さな一歩が大きな力に

上小のシンボルともいえる谷合坂のイチョウの木が鮮やかな黄金色に輝いています。早いもので12月。今年もあと1カ月になりました。

先月は、人権旬間を設け、各学級で人権や差別、生命について学習するとともに、各学級で日頃の感謝を伝える「ありがとうの木」を作り上げました。また、先週の金曜日には全校で人権集会を行い、上小向上委員会による発表や私からも人権について話をいたしました。意見交換・感想発表の時には、「人の気持ちを考えてないことがあったから次からは考えようと思いました。」や「気が付かないうちに仲間外しをしていたかもしれません。気づける人になりたいと思います。」「苦手な人を差別していました。今度から差別しないようにしようと思いました。」など自分を振り返り、これからの日常生活につなげようとする姿が見られました。その小さな一歩が大きな力になるはずです。

集会の時にも子供たちに伝えた「水俣病語り部の会 吉永利夫さん」から送られてきた手紙の一部を紹介します。

大事なこととは、皆さんと私の周りで起きている小さなつらいことや、小さな差別や、小さな悲しいことや、小さな楽しいことや、小さながんばりを見つけ、一言でも声をかけ合うことかと思っています。



将来をたくましく生きていくために小学校時代に身につけてほしい「身に付けよう 3つの力」の中に「思いやりの心」と「伝える力」を掲げています。相手のことを理解し、思いを伝えることで「つながり」が生まれ、思いやりの心が相手に伝わり、その輪が大きくなっていきます。本校の目指す「『愛』と『合い』があふれる学校」が見える人権旬間でした。

持久走大会、学年懇談会お世話になります。

今週の木曜日(12月4日)、校内持久走大会及び学年懇談会を行います。授業中、運動場からは「がんばれ～」や「あと少し」といった友達同士の励ましの声が響き、その声援を受けて、一人一人のペースで走っています。当日はぜひ懸命に走る姿をご覧いただき、声援を送ってもらえたらと思います。また、持久走大会前に各学年の懇談会も開きます。2学期の成長や今後に向けた課題を共有していただき、次への成長につなげていただきたいと思います。